

Vision 2030

日本チェス連盟の長期目標として、2030年までに目指す姿である「Vision 2030」を以下の通り制定する。

概要

「Vision 2030」はチェスが日本において浸透し、その普及と発展が持続する未来を実現するために、活動の方向性を示すものである。「Vision 2030」は次の三つの目標を掲げる。

1. 競技人口の拡大
2. 競技力の強化
3. 基盤の整備

競技人口の拡大

年齢、性別、国籍を問わずチェスに触れられる機会を増やす。具体的なアクションプランとして、以下を計画している。

- ユース向け施策：学校へのチェスセット寄贈や講師派遣、Instagram開設
- シニア向け施策：カルチャーセンターや公民館でのレッスン、イベント開催
- 女性向け施策：女性限定の大会やイベントの開催、友人紹介特典の導入
- 外国人向け施策：所属コミュニティへの働きかけによる活性化
- その他：インフルエンサーとのコラボレーションやメディアへのアプローチ など

これらの結果として、以下の推移で会員数の拡大を目指す。

2023年（実績）	658名
2025年	1,050名
2027年	1,600名
2030年	3,000名

競技力の強化

世界で活躍するプレーヤーを継続的に輩出し、一方で入門者が体系的に学習できる環境を整える。具体的なアクションプランとして、以下を計画している。

- GM/IM輩出：国内でのノーム大会開催、有望なプレーヤーへの支援プログラム
- ユース強化：交流、競争の場を提供、国外のプロコーチ招聘
- 学習環境整備：日本語教材の作成、公認指導者の養成 など

これらの結果として、以下のタイトル保持者数達成を目指す。

タイトル保持者数	2023年	2030年
GM	0	1
IM	2	4
FM	6	10
CM	8	15
合計	16	30

女子タイトル保持者数	2023年	2030年
WGM	0	0
WIM	0	0
WFM	1	3
WCM	3	5
合計	4	8

※一部非アクティブプレーヤーを除く

加えて、レーティングベースの目標等も以下の通り設定する。

- FIDE国別オープン順位：70位、トップ10平均レーティング2,350（現状比+100）
- FIDE国別女子順位：80位、トップ10平均レーティング1,750（現状比+100）
- 大学生トップレーティング：2,400（IMレベル）
- ユーストップレーティング：2,200（CMレベル）
- カデッツトップレーティング：1,800
- 女子トップレーティング：2,100（WFMレベル） など

基盤の整備

上記二つの目標遂行のため、日本チェス連盟と公認クラブの連携強化と双方の活動量向上を目指す。日本チェス連盟のアクションプランとして、以下を計画している。

- 常設チェスセンターの設立：2024年2月、東京にて始動
- 年間予算の拡大：3,000万円到達
- 従業人員の確保：常勤役員1名、常勤従業員2名 など

また公認クラブの活動量として、以下を目標として設定する。

- 公認クラブ数：60（2023年末実績：24）
- 公式戦の開催数増加：各地方で毎週末、クラブ主催大会が開催される など